



わたうち

令和7年10月7日

No.12

太田市立綿打中学校



〔令和7年度 学校スローガン〕

全員が「よりよくなろうとする力」を発揮！誰一人取り残さず「わくわく」があふれる綿打中学校

第1回学校評価アンケートの結果および今後の方策等について

令和7年度第1回学校評価アンケートでは、お忙しい中、ご回答をいただき、ありがとうございました。

皆様からいただいたアンケートの結果をもとに、職員で各項目の改善策や今後の方策等について検討をしました。綿打中の生徒が日々充実した学校生活を送ることができるよう、教育活動の改善により一層努めてまいります。保護者の皆様にも、ご理解とご協力をお願いいたします。

アンケートは、各項目とも「A：そう思う B：だいたいそう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない」の4つの選択肢でした。本校では目標値を「AとBの合計が70～100%」と設定しました。70%に満たなかった回答には色を付けてあります。
「保」は保護者、「生」は生徒の回答結果です。

【Ⅰ 「保護者との連携・協力による信頼される学校づくり」についての評価】

《評価項目》

①学校は保護者との情報共有に努めている。	保91%	生81%
②学校は家庭との信頼関係づくりに努めている。	保83%	—

《改善策等》

○各種の通信の発行及びブログの充実を図り、学校の取組や考え方等を保護者や地域にこまめに発信します。

○教育相談、生徒指導、教育支援の各委員会で連携を図り、全職員で生徒や保護者の心に寄り添った相談と支援を、共通理解、共通実践していきます。

○より一層外部機関や地域との連携を図り、生徒からの相談や悩みごとの対応について、多方面からサポートできるようにします。

【Ⅱ 「生徒が主体となる特別活動の充実」についての評価】

《評価項目》

③学校は生徒が主体となる特別活動の充実に努めている。	保88%	生94%
----------------------------	------	------

《改善策等》

○各委員会による生活向上キャンペーンの充実を図り、よりよい学校生活を送るための活動を工夫していきます。

○学校行事において、生徒自身が企画を提案、検討、実行するサイクルを重視し、生徒主体の話し合い活動を定期的に行います。

【Ⅲ 「主体的な学びを重視した確かな学力の育成」についての評価】

《評価項目》

④学校は学習意欲の向上に努めている。	保69%	生86%
⑤学校は学習指導要領を踏まえ、課題解決学習(めあて・振り返り)を推進している。	—	生84%
⑥学校は思考力・判断力・表現力の育成に努めている。	保73%	生88%
⑦学校はICT機器を積極的に活用している。	保52%	生86%
⑧生徒は家庭学習をする習慣が身についている。	保48%	生42%

《改善策等》

- 生徒が必要感をもって学習に取り組むための教材提示や振り返りの徹底を図ります。
- 校内研修を全職員で実施し、単元構成や振り返り、導入でどのような工夫を行っているのかを共有し、自分の授業に活かしていきます。
- 「教科と教科のつながり」や「現在の学習と進路とのつながり」を示すことで、生徒が学習する意義を見出し、主体的に学習することができるよう支援します。
- 朝読書と新聞読書の充実を図り、読解力の向上を目指します。
- 学習習慣を身につけさせるために、学習状況を予定表に書いて担任と共有し、生徒が計画的に取り組めるよう助言していきます。

【Ⅳ 「豊かな人間性の育成」についての評価】

《評価項目》

⑨学校はいじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めている。	保76%	生87%
⑩学校はいじめのない温かい人間関係づくりに努めている。	保89%	生95%
⑪学校は生徒に寄り添った支援に努めている。	—	生66%
⑫学校は時と場に応じた適切な言動やあいさつの指導に努めている。	保92%	生92%

《改善策等》

- 教育相談やC & S、生活ノート・生活アンケートなどの記述から生徒の不安や悩みを把握し、対応していきます。
- 教育相談委員会では、心配な様子が見られる生徒の情報を共有し、担任だけでなく複数の教員が関わって学校全体で見守る体制を取っていきます。
- 教育相談では、生徒の良さや頑張りを伝えるとともに、困り感にも親身に寄り添って対応します。また今後も、教師が給食の時間や授業の隙間時間などに積極的に生徒に声かけを行うなどして、生徒と関わる時間を増やし、生徒が悩みごとを伝えやすい環境を整えていきます。

【Ⅴ 「安全教育・学校安全・危機管理」についての評価】

《評価項目》

⑬生徒は交通安全やマナーを守って交通事故にあわないよう安全に自転車に乗っている。	保92%	生94%
⑭生徒は地震や火災などの災害時に自分の身を守る方法を理解している。	保84%	生89%
⑮学校は安全対策や施設管理の管理を適切に行っている。	保92%	—

《改善策等》

- 交通安全教室やデジタル危険マップの作成を通して、登下校時の安全意識を高める取組を行いました。今後も定期的に呼びかけ、危機意識を高めていけるように努めます。
- 不審者の侵入を想定した避難訓練を実施し、教職員と生徒が組織的に適切かつ迅速な対応ができるように取り組んでいきます。
- 情報モラル講演会や道徳、社会科、技術・家庭科の授業などを中心に、今後もスマートフォンやSNSの正しい使い方を丁寧に指導していきます。
- 生徒の安全面を第一に考え、日常的に校舎内外の巡視を行い、施設整備・管理に努めます。

【Ⅵ 「望ましい生活習慣の確立や運動習慣の形成」についての評価】

《評価項目》

⑩食事・運動・睡眠を意識して、健やかな体づくりに努めている。	保82%	生76%
⑪生徒のゲーム・SNS・動画視聴等の時間は、1日当たり2時間未満である。	保38%	生32%
⑩生徒は運動に親しんだり体力づくりに積極的に取り組んだりしている。	保80%	生76%

《改善策等》

- 保健だよりや給食だよりを通じて啓発を続けていきます。また、生徒集会で保健委員会から健康的な体づくりや生活習慣等について情報を発信していきます。
- 年2回実施する食育指導において、食育主任（家庭科担当）と養護教諭で連携することで、健康全般に通じる食育指導を行っていきます。
- インターネットやゲーム依存症の恐ろしさを授業で取り上げ、自分の生活を振り返ることができるようにし、健全な生活を推奨していきます。
- 健康のために、運動の推奨、規則正しい生活習慣を呼びかけていきます。

【Ⅶ 「キャリア教育の推進」についての評価】

《評価項目》

⑨学校は自分の将来や生き方、進路などについて考える指導をしている。	保76%	生70%
⑩進路や将来の夢について家庭で話す機会をもつようにしている。	保86%	生68%

《改善策等》

- 職場体験や職業調べを行い、職業に関する理解を深め、望ましい職業観・勤労観の素地を養っていきます。そして生徒一人一人が、将来の夢に向かっていけるよう、3年間を通した進路指導を行っていきます。
- 進路が決定した3年生が、1・2年生に対して体験談を発表すること（「ようこそ先輩」）により、進路決定の一助としていきます。
- 進路通信を発行し、家庭で将来について話し合う機会をもてるようにします。

【Ⅷ 「環境教育」についての評価】

《評価項目》

①学校はISO活動(エコ活動や環境教育)に努めている。	保84%	生59%
②家庭では、エコ活動(地球環境にやさしい活動)に取り組んでいる。	保86%	生78%
③地域における環境保全活動等に積極的に参加している。	保27%	生33%

《改善策等》

○学校全体で節水、節電を目指し、日常的に教職員からの呼びかけや生徒同士での声かけができるよう努めます。

○アルミ缶回収の認知度を上げるため、委員会活動をさらに工夫し、一人でも多くの生徒が回収に協力できるようにします。

○学年だよりやブログ等を通して、ISO活動について地域や家庭に啓発していきます。

昨年度と比べて、⑧と⑪の項目でポイントが上昇しました。

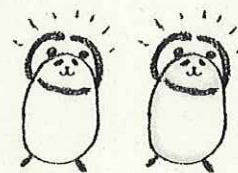
⑧生徒は家庭学習をする習慣が身についている。

令和6年度 保42% 生28%
令和7年度 保48%(+6%) 生42%(+14%)



⑪生徒のゲーム・SNS・動画視聴等の時間は、1日当たり2時間未満である。

令和6年度 保24% 生28%
令和7年度 保38%(+14%) 生32%(+4%)



上記のようにポイントが上がったことにより、実力テストでもその成果が現れています。どの学年も4月と9月を実力テストの結果を比較すると、標準偏差値が伸びています。

これからも授業の復習をする必要性を伝え、さらに家庭学習をする習慣が身につくように呼びかけていきます。知識を身につけるためには、学習の量が大切です。繰り返し同じ問題を解くなどして、確実に覚える努力をしてほしいと思います。

ゲーム・SNS・動画視聴等の時間についても、引き続きご家庭でも声かけをお願いいたします。睡眠時間を7～8時間は確保し、心身共に健康に過ごしてほしいと思います。

